

基準（具体的な内容）

防犯指導リーダー（地域で指導できる）

- | | |
|---|---|
| ①防犯意識を高揚，持続するための方法を説明できる。
②あいさつ運動や地域巡回活動などへの保護者の協力依頼ができる。 | p.42～43
p.8～9 |
| ①防犯活動の人員の確保ができる。
②地域での様々な行事などを通して防犯活動の人材を集めることができる。
③後継者の育成について計画的に取り組むことができる。 | p.38～39
p.38～39
p.38～39 |
| ①地域の保護者に対する定期的な研修会や情報交換会を企画し実施できる。
②学校や教育委員会と協力して，定期的に警察と地域住民，学校との連絡会議を企画し実施できる。 | |
| ①防犯活動に積極的に参加し，地域に信頼されている。
②地域の様々な行事に参加し，地域に信頼されている。 | p.42～43
p.42～43 |
| ①活動に必要な経費などについて，執行管理ができる。
②支援事業に申請書や報告書を提出することができる。 | |
| ①地域の防犯や安全に関する事情に興味を持っている。
②人の話をよく聴き，共感できる能力がある。
③安全教育以外にも地域づくりや街づくり，環境改善などの活動に積極的に参加することができる。 | p.38～39 |
| ①知り得た秘密事項の守秘義務を遵守できる。
②日常の行動，態度，服装など品位の保持に努めることができる。 | |
| ①地域の情報誌への掲載内容について制作と掲載依頼ができる。
②地域住民に対する防犯対策など，各種情報の臨時・定期的な情報伝達ができる。
③地域にとって有益な防犯情報をタイムリーに発信することができる。 | p.44～45
p.44～45 |
| ①出会い系サイトの実態と危険性について説明できる。
②ネットオークションなどでのトラブルについて具体的な事例を説明できる。
③掲示板やメールの特性や，個人情報流出などの危険性について説明できる。
④ネットを利用した不正請求についての対処方法を説明できる。
⑤掲示板での誹謗中傷や，メールによるいじめ等の人権侵害について具体的な事例を説明できる。 | p.50～51
p.50～51
p.50～51
p.50～51, p.56～57
p.50～51, p.54～55 |
| ①ネット社会の匿名性や，危険を回避する方法を知っている。
②ネット上の商品取引における詐欺行為と，その回避方法について説明できる。
③ネット上での誹謗中傷への対応策や個人情報の取り扱いについて説明できる。
④不正アクセスを理解し，不正アクセスを防ぐ方法を知っている。
⑤子どもたちを有害情報にアクセスさせない方法を知っている。
⑥認可されていない薬や銃剣などのネット上での販売実態について知っている。
⑦迷惑メールやネットでのストーカー行為は犯罪であることを理解し，防ぐ方法を知っている。
⑧子どもがインターネットで巻き込まれやすい犯罪について説明できる。 | p.56～57
p.54～55
p.52～53 |
| ①サイバー犯罪の種類や内容について説明できる。
②警察のサイバー犯罪窓口や消費者センターなどの相談窓口連絡する方法を説明できる。
③ネットいじめ等の被害にあった子どもへのアフターケアについて説明できる。 | p.56～57 |
| ①子ども向けGPS端末の特性を説明できる。
②携帯情報端末（携帯電話）などを利用したタイムリーな情報伝達の方法を知り活用できる。
③防犯に関する情報を活用し，地域の防犯活動に役立てることができる。 | p.54～55
p.34～35
p.34～35 |